

在宅医療支援システム研究会次第

日時 令和7年6月24日（火）
18時30分～

場所 介護老人保健施設くろかみ 研修室

1 開 会

2 あいさつ

3 報告、情報提供

① 「介護職員初任者研修」実施について(高齢者支援課)

② 「サロン・集いの場交流会」について(新見市社協)

③ 「令和7年度第2回多職種連携・人材育成研修会」について(まんさく)

4 協議事項

1) 情報連携ツールについて

情報連携ツール説明会の開催案内

2) 認知症ケアパスについて

次回開催日

令和7年7月29日（火）

介護職員初任者研修

(旧ホームヘルパー2級)



受講生募集



研修日程

令和7年8月26日(火)～令和7年12月23日(火)
(実習期間含む) ※詳細についてはホームページをご覧ください。

会場

新見市地域福祉センター 2階研修室
(新見市金谷640-1)

受講料

20,000円(テキスト代込)

定員

15名

対象者

新見市在住の方または新見市内の介護事業所にお勤めの方

申込方法

右の二次元バーコードから申請いただくか、
住所・氏名・年齢・電話番号・お勤め先を
ご記入の上、FAXまたはEメールで下記まで
お申し込みください。



お申し込みはこちら

受付期間

令和7年7月1日(火)～令和7年8月8日(金)



新見市役所 高齢者支援課 介護保険係

〒718-8501 岡山県新見市新見310番地3

TEL:(0867)72-3148 FAX:(0867)72-1407

k-shien@city.niimi.lg.jp

令和7年6月吉日

医療・介護関係事業所等 管理者 様

(新見市在宅医療・介護連携支援センター受託団体)

一般社団法人新見医師会 会長 吉田 徹

(公印省略)

医療・介護従事者研修会の開催について (ご案内)

日頃より新見市在宅医療・介護連携支援センターの活動にご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。令和7年度第2回多職種連携・人材育成研修会を下記により開催いたしますので、ご案内をさせていただきます。

これまでの人材育成研修会ではACPについての取り組みとして、3年前よりACPの基本について、ACPのプロセスと意思決定支援について学び、昨年は本人・家族の意志決定にそれぞれの職種としてどのように関わっていけばよいかということ、ロールプレイを通して考えました。

さて、今年度は「ACPを体験しよう」と題して、ACPについて新たな視点で見ていこうと考えています。その中で、誰もがACPについて考えるきっかけとなる「もしバナゲーム」の体験も予定しております。医療・介護・福祉従事者の一人でも多くの方がご参加いただけますよう、職員の方の参加にご配慮いただきますようお願い申し上げます。

なお、本研修会は岡山県介護支援専門員協会新見支部にご共催いただいております。

記

- 1 研修名：令和7年度 第2回多職種連携・人材育成研修会
- 2 日時：令和7年7月18日（金） 18：30～20：30
- 3 場所：正田公民館 1階ホール
- 4 テーマ：「ACPを体験しよう！～もしバナゲームに挑戦～」
- 5 講師：ACPエバンジェリスト iACPもしバナマイスター
社会福祉法人 四ツ葉会 主任介護支援専門員 大河内章三氏
- 6 対象：医療・介護関係者（実務に携わっておられる方以外でも参加できます。）
- 7 申し込み方法等：
申し込み用紙にご記入の上、FAXにてお申し込みください。

FAX：0867-71-0309

申し込み締め切り：令和7年7月10日（木）まで

8 その他

注意！！

当日の駐車場について

今回の研修会場に正田公民館をお借りしております。公民館は地域の方が優先的に使用されますので、公民館の敷地内の駐車場のご使用はご遠慮ください。

必ず、公民館の隣のグランドゴルフ場を隔てて反対側にある2列の駐車場をご利用ください。

新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく

電話：0867-88-8270

令和7年度 第2回多職種連携・人材育成研修会
参加申込書

事業所名	
電話番号	
	参加者名(職種) ()

連絡事項等があればご記入ください

--

FAX 71-0309

新見市在宅医療・介護連携支援センターまんさく 宛

締め切りは7月10日(木)です

令和7年6月吉日

新見市内医療・介護関係事業所等管理者様

新見地域在宅医療支援システム研究会

会長 太田 隆正

情報連携ツール説明会の開催のご案内

日頃より新見地域在宅医療支援システム研究会の活動にご理解とご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、先日の「情報連携ツールについてのアンケート」に150人以上の方から回答がありました。お忙しい中、ご協力くださり本当にありがとうございました。アンケートの結果、新見市内の情報連携の主流はFAXで、複数の人が目に触れるFAXでの情報のやり取りをしている人が多い現状が明らかになりました。そこで、近隣の自治体が導入し活用している情報連携ツールのLINEWORKSとMCS(Medical Care Station)について、実際利用されている方を講師にお招きし、ZOOMによる説明会を計画しましたのでご案内をさせていただきます。大変お忙しいと存じますが、貴所属の職員の研修会へのご出席についてご配慮いただきますようお願い申し上げます。

記

1 日 時：令和7年7月9日（水）15：00～16：30

2 方 法：ZOOMを利用

3 内 容：情報連携ツール説明会「LINEWORKSとMCSについて」

講師：高梁市 健康福祉部 地域包括支援センター

主幹（社会福祉士） 倉橋重昭氏

岡山県介護支援専門員協会 副会長 柴田倫宏氏

4 対 象：市内の事業所の方、どなたでも

今後の新見市内の情報連携に関することですので、一人でも多くの方のご参加をお願い申し上げます。

5 申し込みについて：申し込みは必要ありません。

当日、下記のID、パスワードにてご入室ください。

ミーティング ID: 918 3747 0222

パスコード: 648224

6 問い合わせ先：新見市在宅医療・介護連携支援センター まんさく

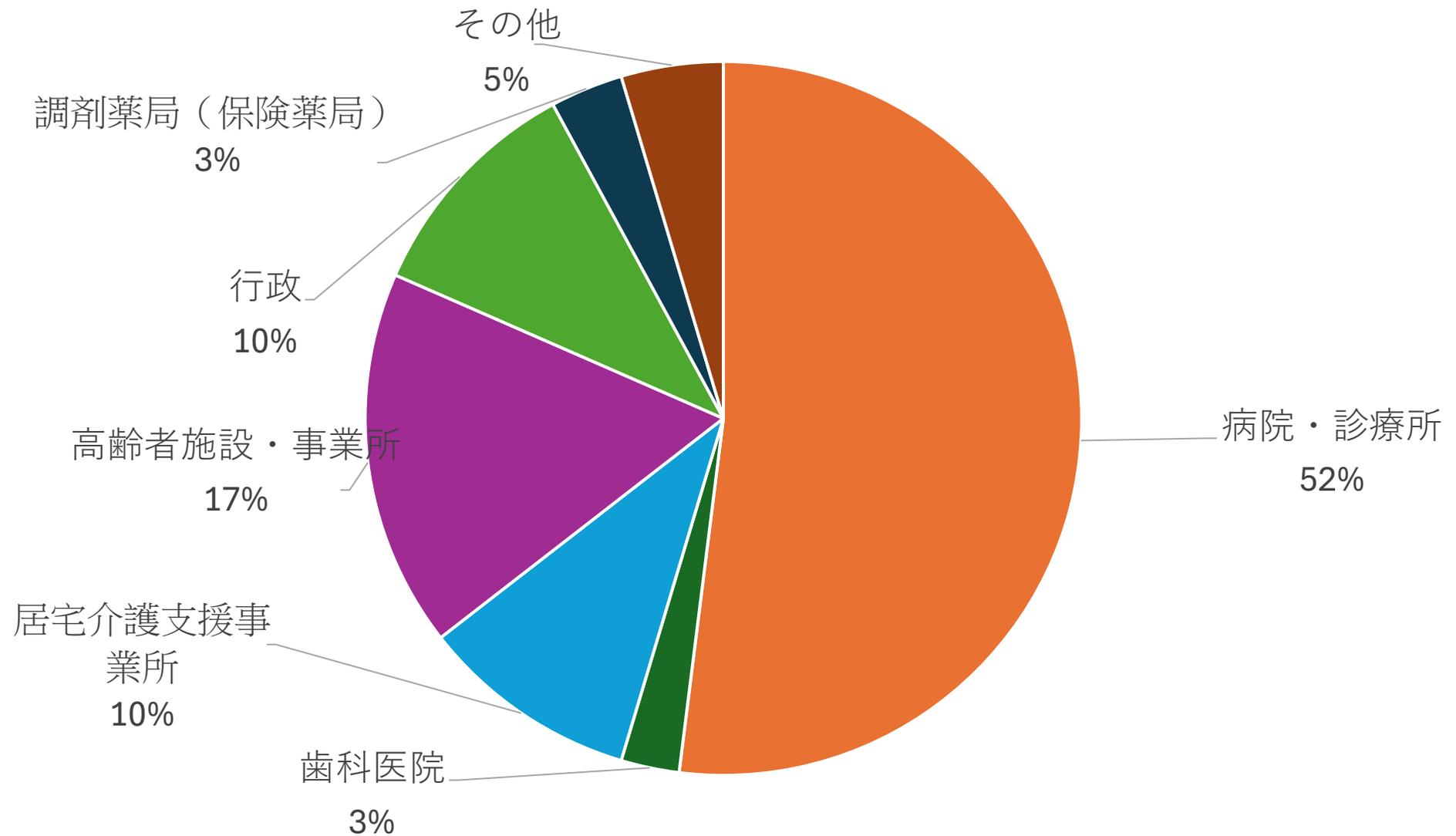
電 話：0867-88-8270

e-mail：mansaku@kurokami.jp

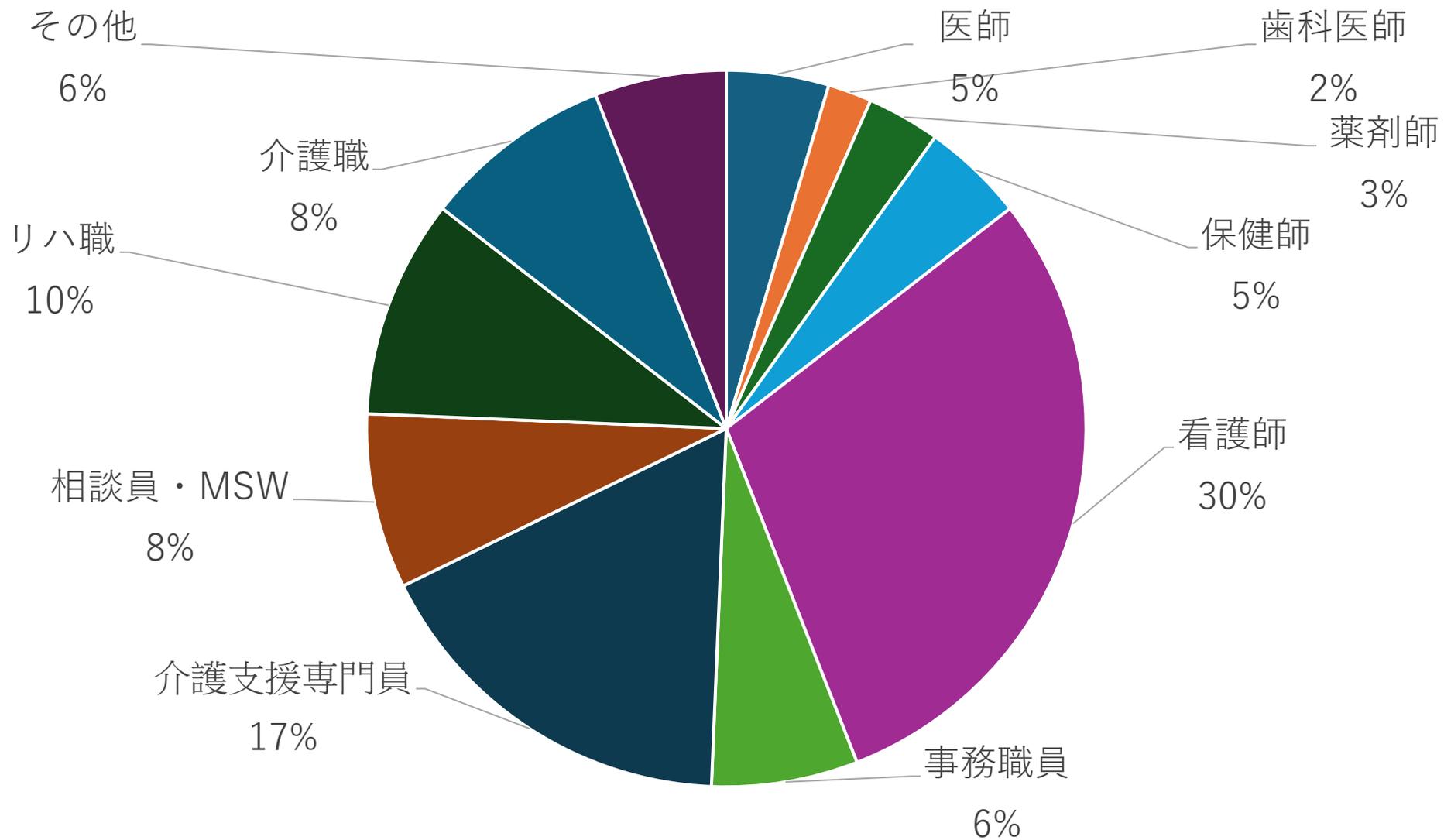
ICTを活用した情報連携について

アンケート結果

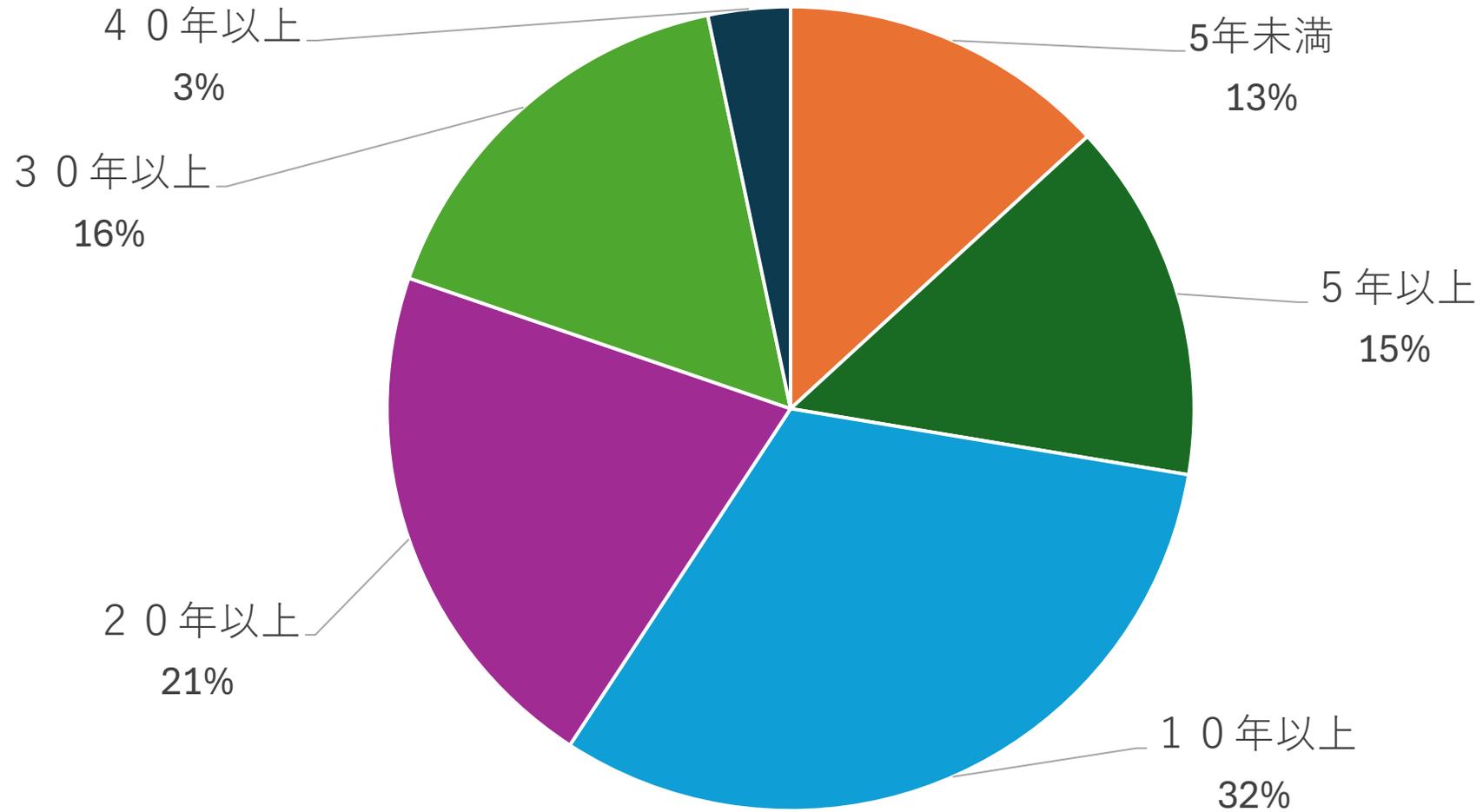
Q1.働いている場所



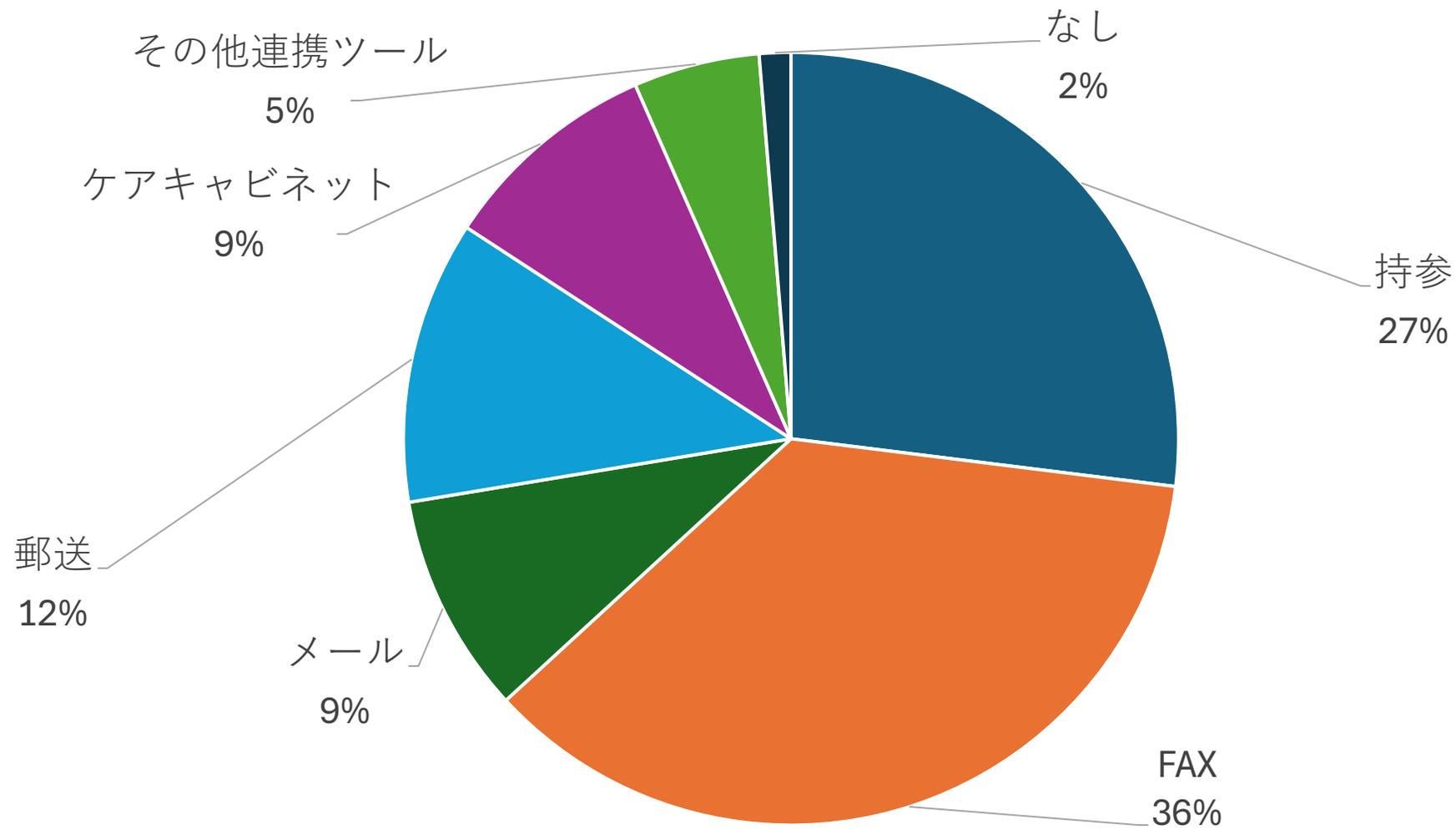
Q2.職種



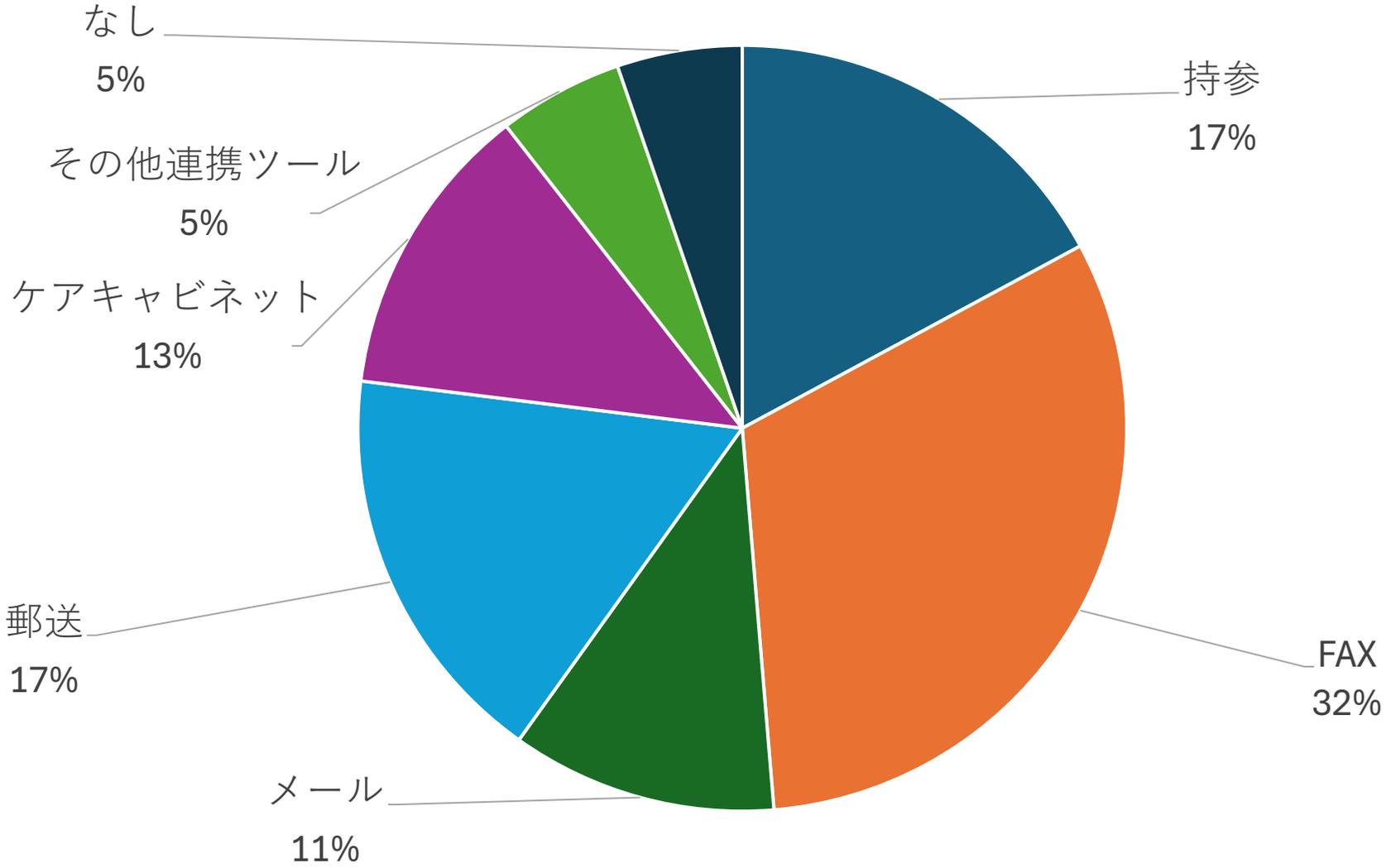
Q3. 経験年数



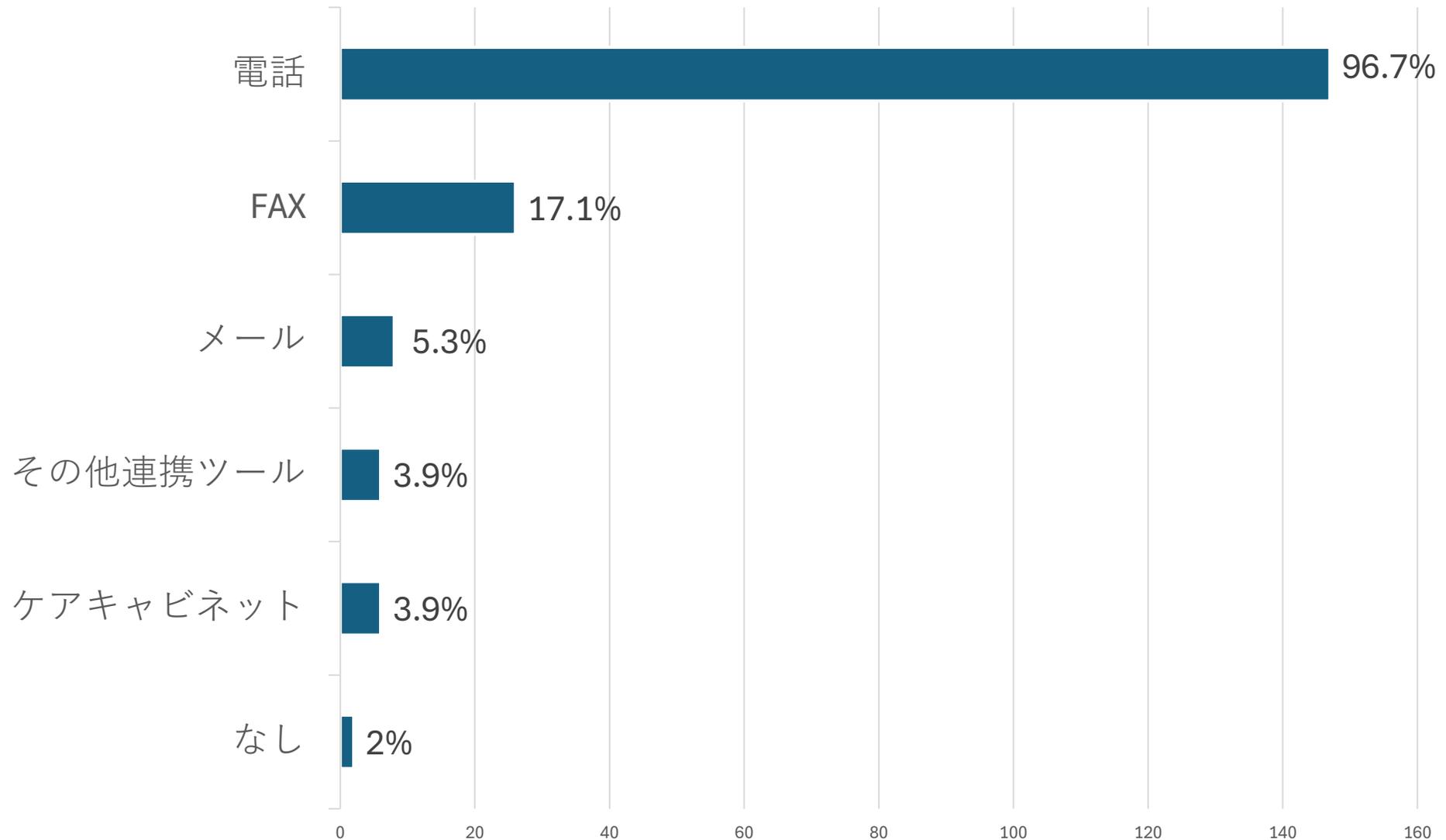
Q4.情報提供時、電話以外で最もよく利用する方法は？



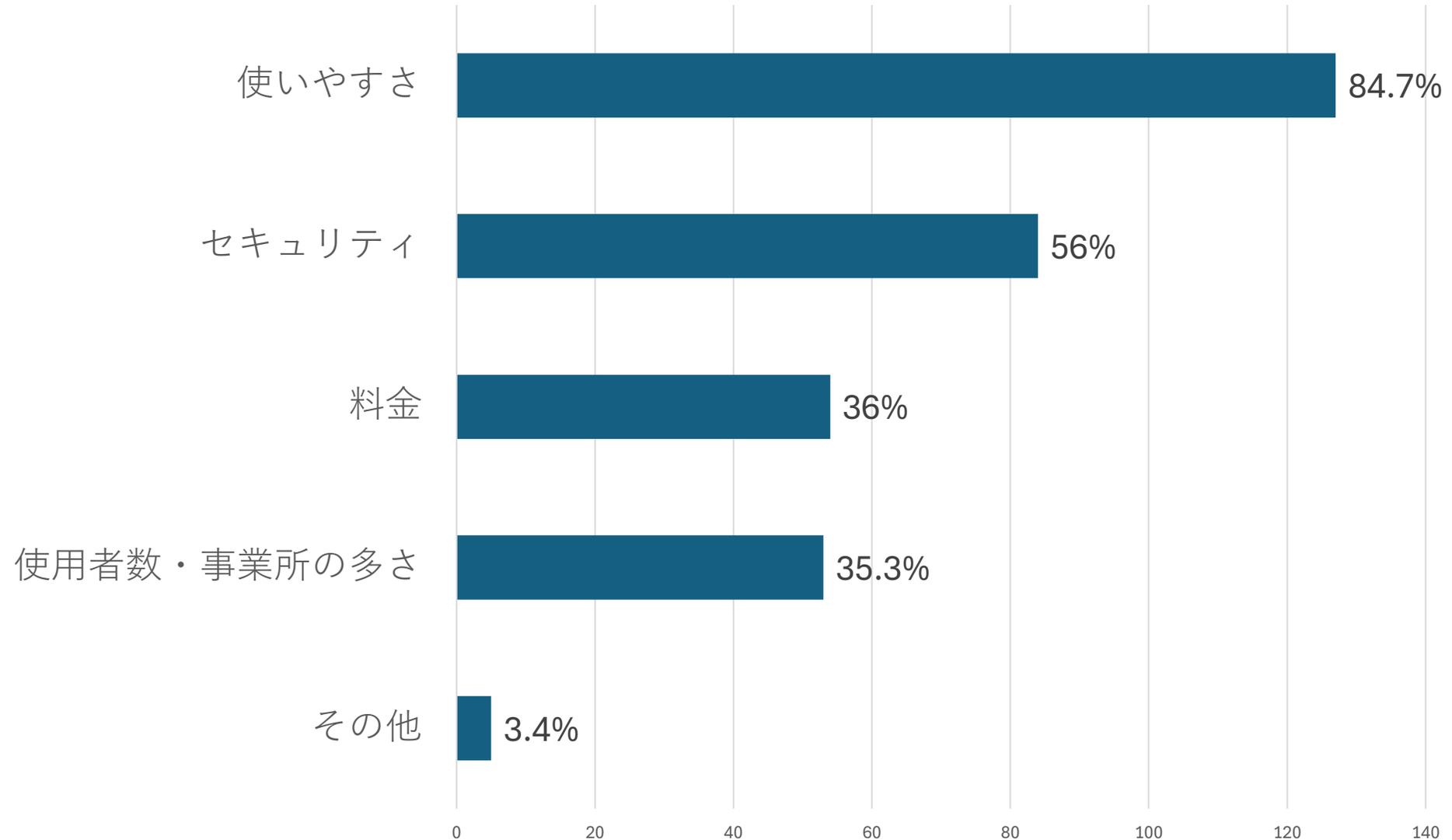
Q5. 情報提供時、電話以外で2番目によく利用する方法は？



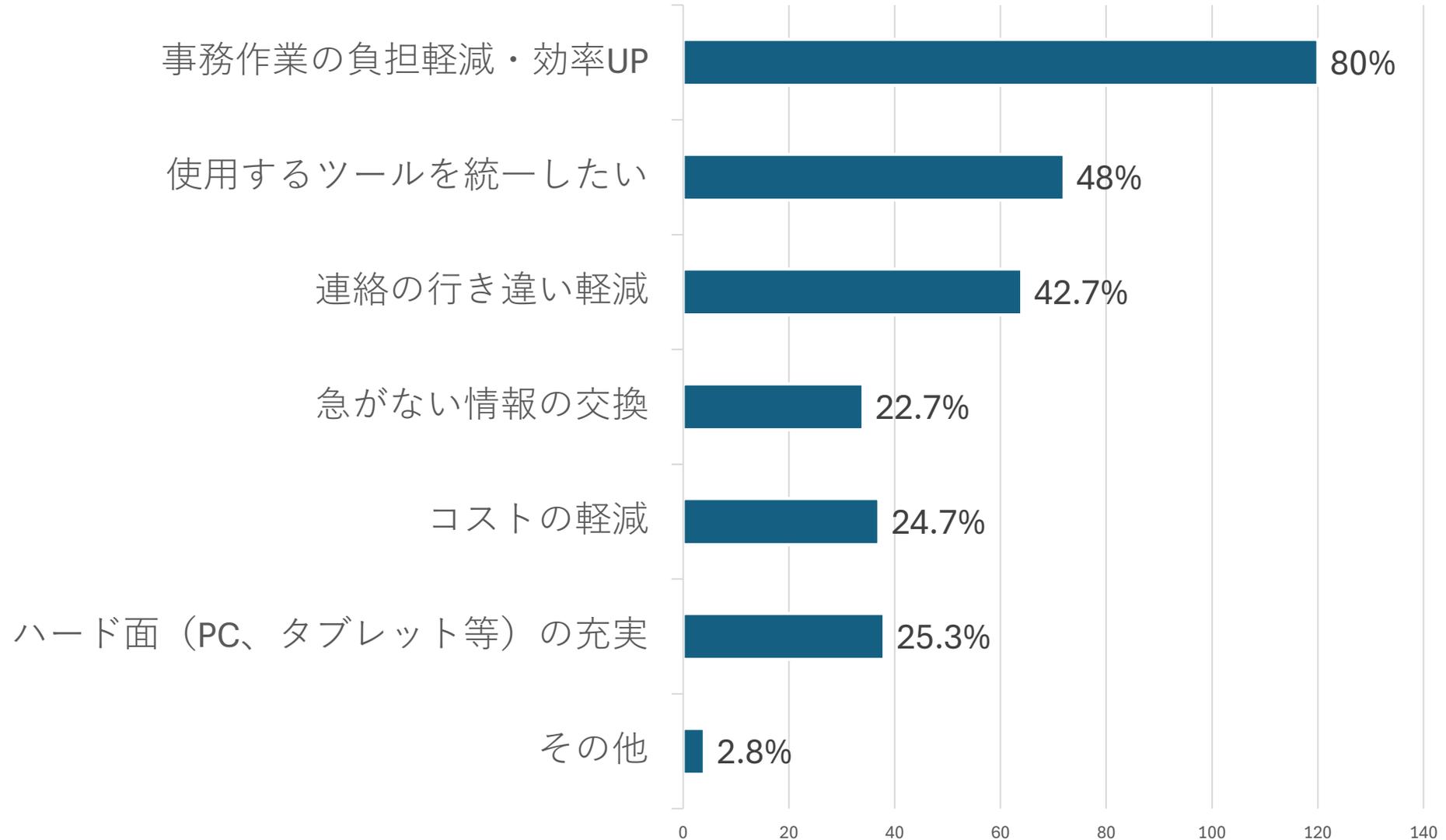
Q6.他機関への緊急時の連絡手段は？



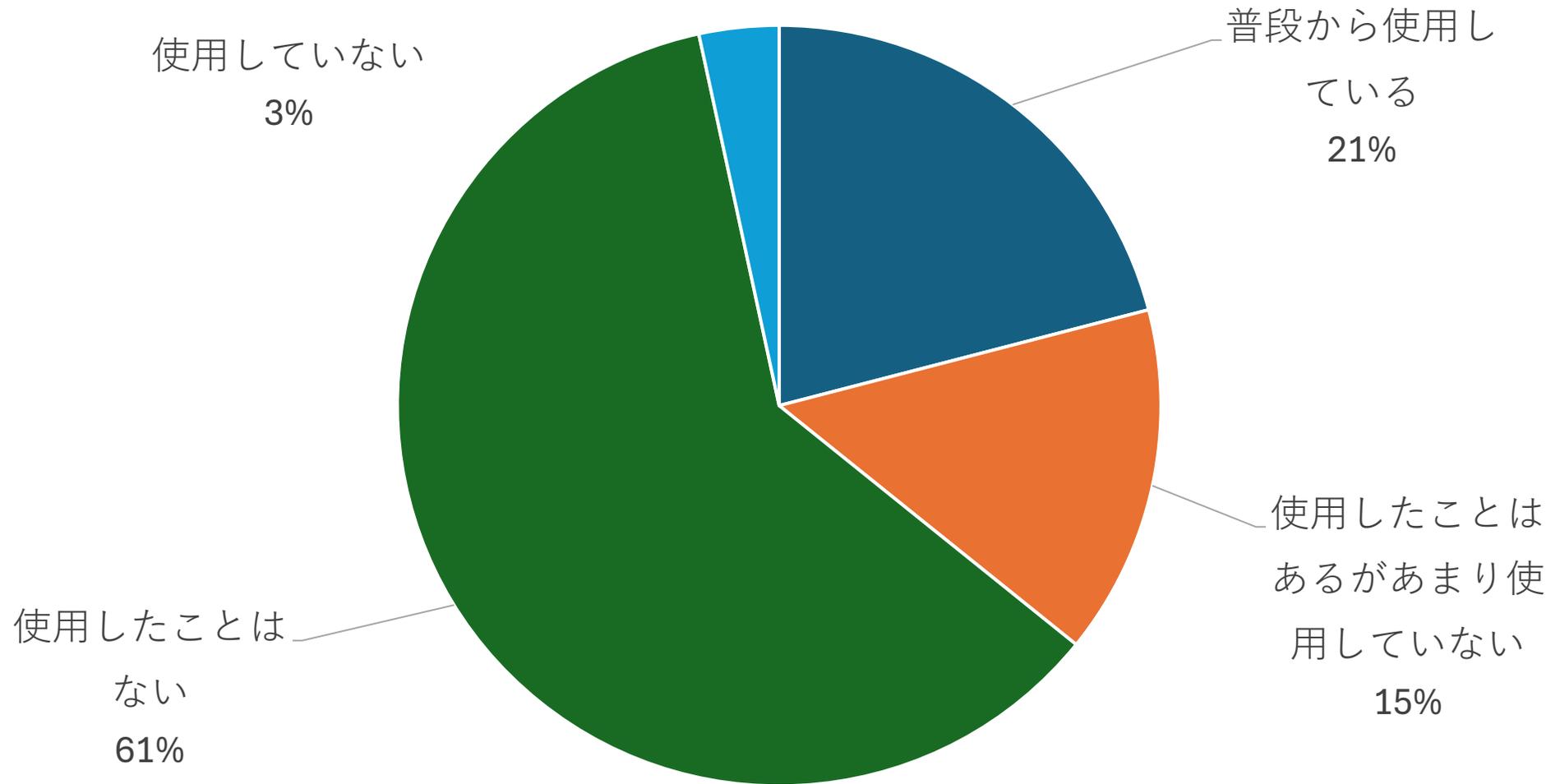
Q7.連携ツールを使用する場合に気にすることは？



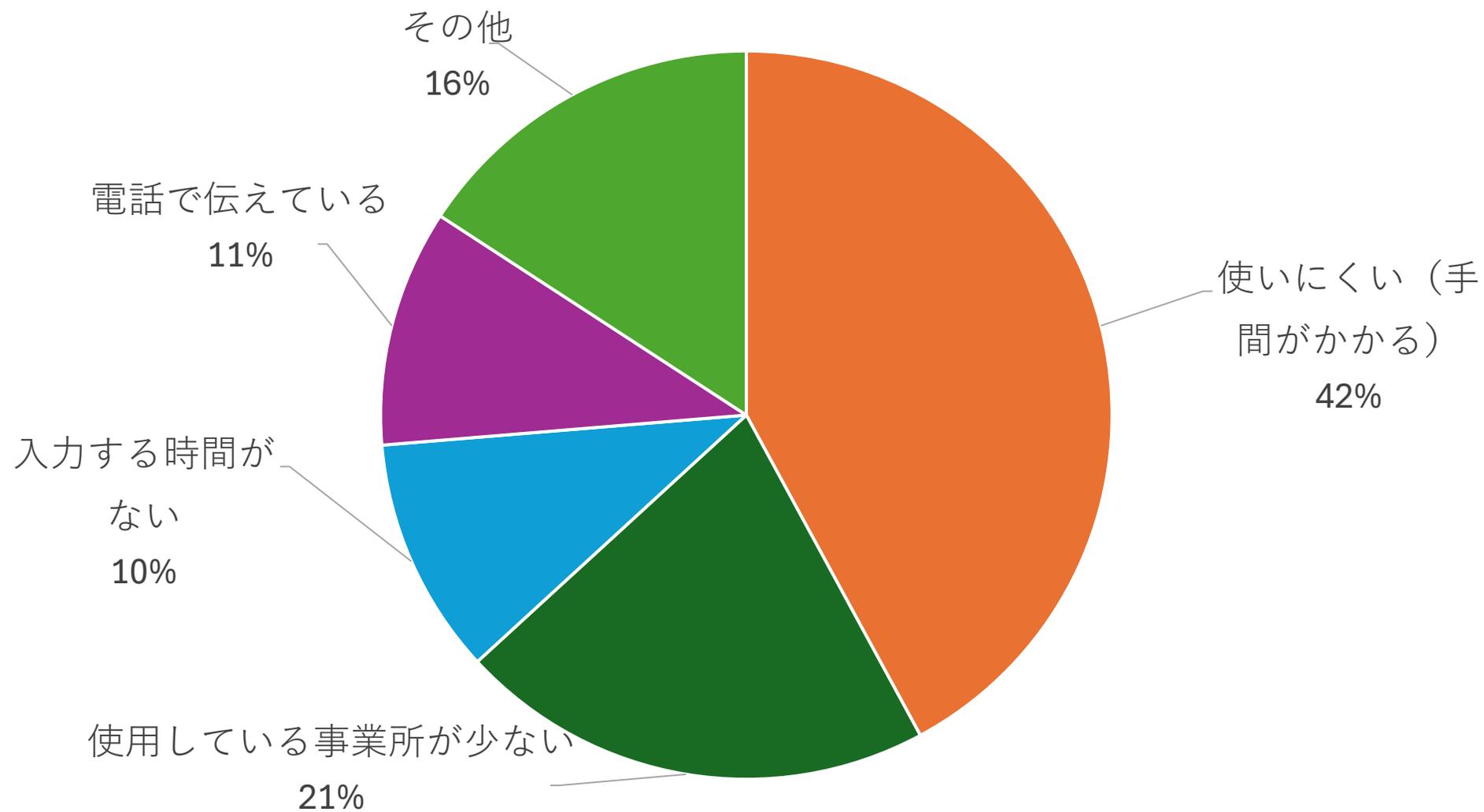
Q8. 今後の情報連携についての希望



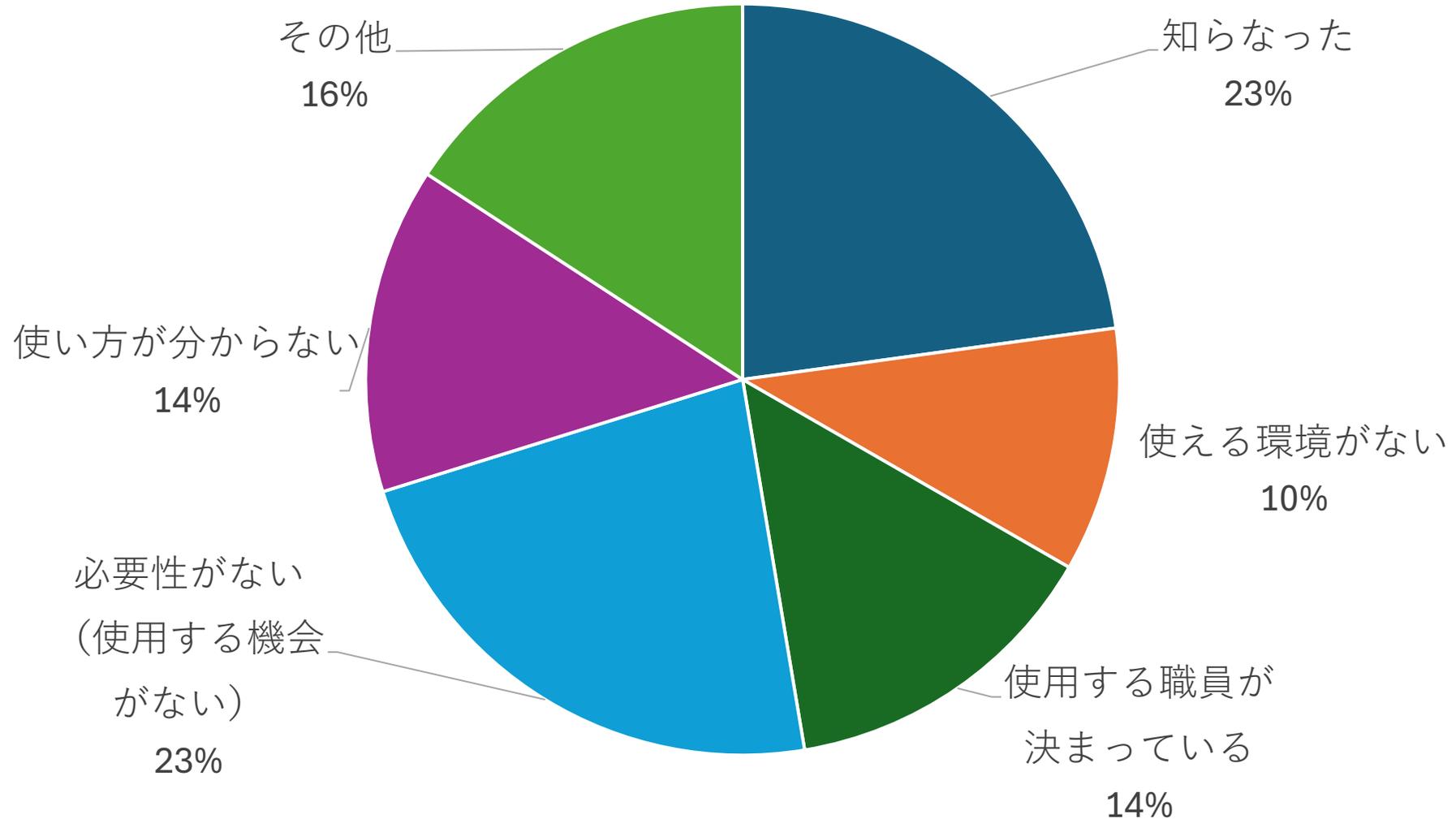
Q9.ケアキャビネットの使用状況



Q9-1.使用したことがあるがあまり使用しない理由は何ですか？



Q9-2.使用したことがない理由は何ですか？



自由記載(複数回答)

- ・LINEWORKS(ラインワークス) 18 (うち1名「使っているが使いやすい」)
- ・ラインのようなツール、ラインを使ったツール 3
- ・MCS(メディカルケアステーション) 6
- ・チームズ 1
- ・ディスコード 1
- ・スカイプ 1
- ・スラック 1
- ・ケアキャビネット 1
- ・電子カルテ 1
- ・休日でも使える手軽なツール 1
- ・スマホでできるアプリ 1
- ・新見市内の事業所で統一したい 4
- ・複数の事業所に連絡する時、一度に連絡できれば助かる 2
- ・新見版情報共有書を利用している 1
- ・ツールは使っていないが困ることはない 1
- ・チャット機能の使用が一番多い 1
- ・一人の患者さんに関わる在宅医医療関係者の情報交換ツール 1
- ・電話以外で急がないが確認されていることが確実にわかるツールが使いたい 1
- ・連携先の多職種に一度で写真など共有したい 1
- ・是非、災害時に使用できるようにしてほしい 1
- ・紙媒体でなく IST に移行していくと便利になる 2